



協議の柱（テーマ）① 防災教育（地域防災力の向上）				
年 度		令和8年度	令和9年度	令和10年度
ゴールイメージ（目的）		【学校】児童が避難場所を知り、いつでも一人でも適切な場所を選んで避難することができる。		
		【地域】地域住民全員が、自助・共助・公助により、それぞれの実態に応じて避難できる。		
学 校	目指す子どもの姿（目標）	友達と相談し、避難場所や避難経路を決定 し、避難することができる。	友達や地域の人と相談し、避難場所や避難経路を決定 し、避難することができる。	一人でも、避難場所や避難経路を決定 し、避難することができる。
		下 学 年：下校時に災害が起きたら、周りの人と一緒に避難することができる自信があるか。		
		目標数値： 80%以上	90%以上	100%
	上 学 年：下校時に災害が起きたら、自分一人でも避難することができる自信があるか。			
目標数値： 80%以上	90%以上	100%		
学 校	学校としての協働活動	・地域団体の意見を取り入れた計画案の作成	・参加団体全ての目的を把握した計画案の作成	・地域の参画を得た参加団体全ての目的を達成できる計画案の作成
		・事前学習（防災マップ作成・図上訓練）への地域団体の参画 ※依頼・案内の範囲を広げていく。		
地 域	目指す地域の姿（目標）	地域住民が、 自助・共助の在り方について意識 し、適切に避難できるようになる。	地域住民が、 自助・共助・公助の在り方について意識 し、適切に避難できるようになる。	地域住民が、 自助・共助・公助の在り方について理解 し、適切に避難できるようになる。
	地域としての協働活動	・学校の避難訓練を知る。 ・子どもたちと 一緒に避難する 。	・学校の避難訓練を地区の防災訓練の年間計画の中に位置付ける。 ・子どもたちに 声をかけながら一緒に避難する 。	・学校の避難訓練を地区の防災訓練の年間計画の中に位置付け、目標達成を目指す。 ・子どもたちを 守りながら、一緒に避難する 。

「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の具現化